

7.2.6 前沢地域

(1) 概況

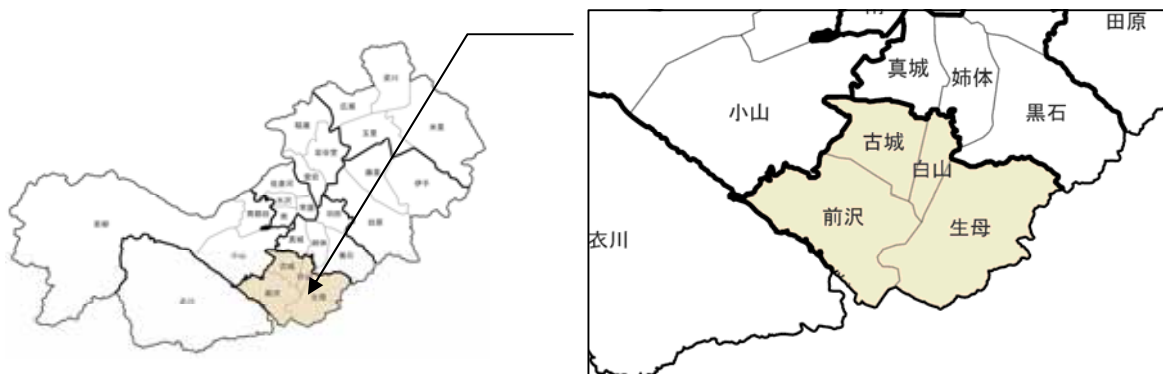
本地域は、JR 東北本線、国道 4 号、東北自動車道が通じる広域交通の要衝であり、多様な都市機能が集積する奥州市の南の玄関口としての役割を担っています。また、市を代表する全国的な有名ブランドである「日本最高峰の高級牛＝前沢牛」のほか、平泉の文化遺産である国指定史跡白鳥館遺跡等の貴重な観光資源にも恵まれています。

地域の東側に位置する山々の良好な自然環境に加え、かねてから桜や梅の植樹、万年の森づくり等、市民による花と緑のまちづくりが行われてきた地域です。

全地域が都市計画区域に指定されており、前沢駅の西側に位置する既存商店街及び行政施設周辺と、駅東側の大規模商業施設周辺が商業系用途地域に指定され、その周辺に住居系用途地域、国道 4 号沿道に工業系用途地域が指定されています。

地域の幹線道路や生活道路には、狭隘区間や歩道未設置区間が多くあり、安全で安心な地域の実現のための整備が求められています。また、地域の中央を流れる北上川流域には肥沃な農地が広がり豊かな穀倉地帯を形成しているものの、河川沿いの低地は水害の常襲地であり、堤防整備が強く求められています。

地域の位置図



(2) 地域の課題

土地利用

- ・ 市南部地域の都市拠点にふさわしいまちづくり
- ・ 前沢駅周辺の地域特性を活かした賑わいのあるまちづくり
- ・ 本杉、塔ヶ崎、前沢インター工業団地の工業生産活動の維持・増進
- ・ 市街地の良好な居住環境の維持・形成
- ・ 土地利用の適正な誘導と用途地域内の低・未利用地の利用促進

道路・交通

- ・ 主要地方道一関北上線等の主要幹線道路の整備促進
- ・ (都)中央線等の幹線道路の整備
- ・ 周辺地域へのアクセス性向上のための道路網の整備・充実
- ・ 生活道路の狭隘区間の解消等と通学路における歩道の整備・充実
- ・ 前沢駅を基点とした公共交通網の充実
- ・ 長期未整備都市計画道路の見直し

自然環境、景観形成、公園・緑地

- ・ 北上川周辺等の水辺環境の保全や水辺に親しめる空間づくり
- ・ 北上川周辺の豊かな田園景観の保全
- ・ 地域東側の山並み景観の保全
- ・ 白鳥館遺跡等の歴史資源の保全と活用
- ・ 自然景観の保全と視点場の整備
- ・ 万年の森等の森林資源の育成と活用
- ・ 地域ニーズに応じた公園の適正配置と再整備

暮らし

- ・ 公共公益施設等のバリアフリー化の推進とソフト施策の充実
- ・ 水害や地震等の災害に強いまちづくり
- ・ 公共下水道等の整備
- ・ 良好な宅地開発の誘導と地区計画等を活用した良好な住宅市街地の形成
- ・ 地域が主体となった創意工夫によるコミュニティ活動の強化
- ・ 道路の通行者の安全確保
- ・ 地域の特性を活かした農業基盤の整備や担い手の育成による農業の活性化

(3) まちづくりの目標と基本方針

活力に満ちた桜梅の郷

前沢駅を中心とした活力のあるまちづくり

前沢駅周辺において東西市街地の連携強化や商店街の活性化等を進めるとともに、駅と周辺地域とを結ぶ交通網の充実を図り、駅を中心に多くの人が集まる賑わいのあるまちを目指します。また、平泉・前沢インターチェンジや国道4号等恵まれた立地条件を活かし、新たな産業の誘致等により、活力あるまちを目指します。

歴史・文化と自然を活かした住み続けたいまちづくり

白鳥館遺跡や歴史的建造物等の歴史・文化資源を保全・活用するとともに、悠然と流れる北上川や田園等の恵まれた自然資源を活用した、ゆとりと豊かさのある魅力的なまちを目指します。

災害に強い安全安心なまちづくり

北上川流域の堤防整備を進めるとともに、自主防災組織等地域の防災体制の充実を図り、地震や水害等の災害に強い、安全で安心なまちを目指します。

(4) まちづくりの方針

土地利用の方針

- ・ 前沢駅周辺は、水沢駅周辺及び水沢江刺駅周辺と連携し、本市南部地域の「都市拠点」として、商業・業務、文化・交流、行政等の都市機能の集積を図ります。また、駅西側の商店街と東側の大規模商業施設が連携し、商業機能の強化・充実を図るとともに、歴史・文化資源等を活用した賑わいのあるまちを目指します。
- ・ 本杉工業団地や塔ヶ崎工業団地、前沢インター工業団地は、本市の産業拠点として工業生産活動の維持・増進を図ります。また、前沢インター工業団地は、工業生産活動の増進を害するおそれのある施設の混在を防止するため、工業系用途地域を指定します。
- ・ 住居系市街地は、公共下水道の整備や狭隘道路等の解消を進め、良好な居住環境の維持・形成を図ります。
- ・ 土地区画整理事業により整備された住宅地は、良好な居住環境の維持・形成を図るため、地区計画やまちづくり協定等の活用を検討します。
- ・ 用途地域の指定のない区域は、良好な居住環境や営農環境に支障を及ぼすおそれのある建築物等の建築を制限する土地利用規制を検討します。

- ・ 用途地域内の低・未利用地は、道路や下水道等の整備を進め、適正な宅地化を誘導するとともに、必要に応じて用途の変更又は建築形態制限の見直し等を進めます。

道路・交通システムの方針

- ・ 広域交通を担う主要地方道一関北上線、県道前沢東山線、県道長坂東稲前沢線は、狭隘区間の解消や歩道の整備を促進します。
- ・ 北上川右岸と左岸の連絡強化、安全な交通環境の確保のため、老朽化が進む大曲橋、赤生津橋の改修を促進します。
- ・ 市街地の幹線道路である(都)中央線の整備を進めるとともに、未整備となっている都市計画道路の整備を進めます。
- ・ 白鳥館遺跡と前沢市街地を結ぶ市道福養線は、地域実情を踏まえた効率的な整備を進めます。また、地域の幹線道路である市道白鳥線の維持・充実を図ります。
- ・ ほ場整備等の基盤整備と連携した効率的な道路整備を進めます。
- ・ 生活道路は、狭隘区間や行き止まりの解消、見通しの悪い交差点の改良等により、歩行者の安全確保に努めます。
- ・ 通学路においては、優先的に歩道の拡幅・整備を進め、安全性の向上を図ります。
- ・ 自家用車に過度に依存することなく暮らせるまちづくりを実現するため、前沢駅を中心とした公共交通網の充実を図るとともに、自転車通行スペースの整備を進めます。
- ・ 長期末整備の都市計画道路は、路線の必要性や配置、構造等の妥当性の検証を行い、必要に応じて見直しや廃止等を進めます。

自然環境の保全及び活用、景観形成、公園・緑地整備の方針

- ・ 北上川の自然環境を保全するとともに、谷起地区周辺等の緑や水辺に親しめる空間の整備を検討します。
- ・ 白鳥川や岩堰川等は、水質の改善や生態系に配慮した整備を進めるとともに、環境保全や美化活動の取り組みを支援し、市民の憩いの場として、潤いのある環境づくりと良好な水辺空間の形成を誘導します。
- ・ 北上川沿いに広がる田園景観は、今後も農業政策と連携を図りながら保全します。
- ・ 地域東側の山並みについては、良好な景観形成を阻害する鉄塔等への対応を進めます。
- ・ 白鳥館遺跡の保全を図るとともに、長者ヶ原廃寺跡や平泉町等の市内外の歴史資源との連携により、広域的な観点を含めた観光への活用を図ります。また、その他の歴史・文化、自然資源についても保全と活用を図ります。
- ・ 歴史的建造物の保全を図るとともに、周辺地域の街並みづくりを進め、歴史的資源と調和した景観形成を誘導します。
- ・ 地域の東側に位置する経塚山周辺の自然景観を保全するとともに、眺望の場としての整備を進めます。

- ・ 万年の森は、市民の憩いの場としての整備を進めるとともに、環境学習の場としての活用を図ります。
- ・ 身近な公園について、計画段階から住民との協働による地域ニーズに応じた公園づくりを進め、住民による維持・管理等の官民協働の取り組みを促進します。

生活環境の整備の方針

- ・ 高齢者、障がい者、妊婦、幼児等の交通弱者や施設利用者の利便性や安全性の向上のため、公共公益施設や公共交通機関のバリアフリー化を促進するとともに、特に前沢駅周辺のエリアや高齢者、障がい者等が利用する施設が集積するエリアについては、重点的かつ一体的なバリアフリー化を促進します。
- ・ 北上川流域の無堤地域の堤防整備及び大桜地区の水害対策を進めるとともに、自主防災組織等の防災体制の充実により、地域の安全性の向上を図ります。
- ・ 土砂崩れ等の災害危険箇所の対策により、地域の安全性の向上を図ります。
- ・ 地域の河川や水路の改修等を進めるとともに、住民による維持・管理等の官民協働の取り組みを促進します。
- ・ 公共下水道施設の整備を進めるとともに、公共下水道計画区域外においては、市営浄化槽の設置や農業集落排水処理施設の整備を進めます。
- ・ 宅地開発指導要綱や地区計画等を活用した、良好な住宅地の形成を図ります。
- ・ 地域の美化活動等の地域コミュニティの強化に資する取り組みを支援します。
- ・ 夜間の通行者の安全性を確保するため、防犯灯の適正な設置を促進するとともに、交差点等においては、道路安全施設の設置を進めます。
- ・ 全国的なブランドである前沢牛等の地域特産物を活用した産業振興を促進します。
- ・ 農業所得向上のための農産物直売所の設置、担い手の育成等の農業振興策の展開や地域資源を活かしたグリーン・ツーリズム等の体験型観光により、農業の活性化を図ります。

前沢地域まちづくり方針図

